

# 「海の豊かさを守ろう」を目指した活動の取り組みについて

公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団 新潟市水族館マリニピア日本海



## 年間を通しての海岸清掃への取り組み

公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団(新潟市水族館マリニピア日本海)では、SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」を目指し、活動に取り組んでいます。

財団では、月に1回 近隣の海岸を清掃するボランティア活動を行っています。砂浜に捨てられたごみが海に流れていかないよう、海から流れてきたごみが再度海に流れていかないようにすることで海の環境を守る事に

貢献をしています。

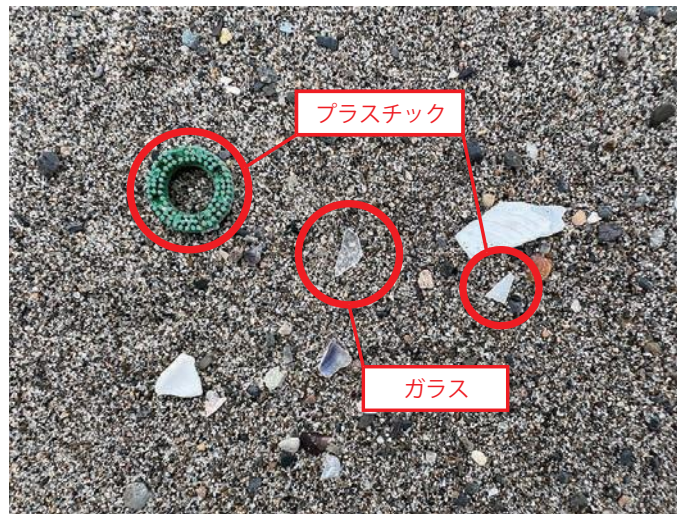
また、プラスチック製品は劣化して碎けるとマイクロプラスチックになります。砂浜にごみを長期間放置しないことで新たなマイクロプラスチックの発生を防止しています。

海の環境を守る活動は、海に生息する生き物を守ることにもなるので、職員の環境に対する意識を高めることにつながります。

海岸清掃の様子



砂・貝殻に混じる細かいプラスチックやガラス



1回の海岸清掃で集まったごみ



## ご来館されたみなさまへ企画展示を通して

新潟市水族館マリニピア日本海の展示として、新潟の海に流れ着いた漂着物などを集めた企画展示「海を流れる物」を2021年7月から10月に開催しました。

漂着生物や漂着物が流れてくる経緯やそれらを調べて分かること、環境問題などについてパネルや骨格標本などを用いて解説・展示を行いました。

海岸清掃で集めたごみもあわせて展示を行い、ご来館されたみなさまへ身近な環境問題として紹介をしました。ファストフードの空き容器や花火、不織布マスクなど、日常生活で目にする機会の多いものが海岸に捨てられている現状を知ること、より多くの方に環境問題を考えるきっかけを提供することができました。

企画展示「海を流れる物」

パネル、漂着物の展示の様子

海岸清掃で集めたごみの展示



## 取り組みの成果

海岸清掃を行うだけでなく、水族館で行われるプログラムを通して情報を広く発信できたことは「海の豊かさを守ろう」を目指した活動の取り組みとして、財団職員やご来館されたみなさまへの環境に対する意識を高めることにつながり大きな効果があったと評価しています。